

## 深澤晟雄村長没後50年・沢内病院開設60周年記念行事が開催される



「生命尊重の心をつなぐ」作文コンクールの表彰。



北村院長による沢内病院の振り返りと新病院の紹介。



いのちの灯文化賞の贈呈。  
中里滋樹先生受賞。

町立西和賀さわうち病院  
事務長 高橋 光世

当院は、昭和29年に当時の沢内村の国保直診病院として開設され、幾多の困難をその都度、地域住民をはじめとする関係者の熱意と努力で乗り越えてきました。昨年が開設から60年の節目の年でしたが、新病院の落成や移転が立て込んでいたことから、記念行事を今年に先延しにしていたものです。

期せずして、旧沢内村の生命尊重行政を牽引した深澤晟雄村長の没後50年と重なった今年、町ではNPO法人などと共に実行委員会を組織し、去る8月22日（土）に記念行事を開催しました。銀河ホールを会場に行われた記念行事には、町内外からおよそ230人が集まり、沢内病院の歴史や深澤晟雄村長の功績を振り返りました。

3部構成の記念行事の第1部では、「生命尊重の心をつなぐ」作文コンクールの表彰と最優秀賞の朗読発表、いのちの灯文化賞の贈呈式、加藤邦夫元院長の記念講演が行われました。加藤邦夫先生は、深澤晟雄村長と直接対話した経験のある、今では数少ない証人のお一人であり、講演の中でも深澤村長との当時のやりとりを生々しく証言されていたのが非常に印象的でした。

また第2部では、北村院長が沢内病院の振り返りと新病院の紹介を行い、続いて、いのちの灯文化賞を受賞した沢内

病院初代歯科医師の中里滋樹先生から「沢内における歯科予防活動と思い出」と題した講話をいただきました。最後は、増田進元院長が深澤村長との出会いに始まる先生の沢内病院勤務にまつわる思い出を様々なエピソードを交えてお話し下さいました。

第3部は、会場を沢内バーデンに移して懇談会が行われ、冒頭で地元のコーラスグループが「深澤晟雄を讃える歌」を披露するなど、100人以上の参加者により盛会のうちに終宴となりました。

今回の記念行事に対する客観的な評価を行う術はありませんが、事後にお話を伺った参加者の皆さんほとんどから好意的な評価をいただきました。特に小中高生の作文コンクールへの評価が高く、生命尊重の理念が脈々と受け継がれていることに感銘を受けたという声が多数寄せられたことは、実行委員会として手ごたえを感じたところがありました。

また、深澤晟雄村長と共に生命尊重行政を構築し、その理念の普及に尽力された太田祖電元村長が、この記念行事の成功を見届けるかのように翌日お亡くなりになったことは、単なる偶然ではない深い因縁のようなものを感じました。

# 岩手県地域医療研究会「第10回現地研究会」開催

町立西和賀さわうち病院

院長 北村道彦



たくさんの参加者で盛会でした。



北村院長のスライド発表。



活発な意見交換会になりました。

本研究会は、国民健康保険団体連合会（国保連）に属する施設の勉強会で、夏に各地を回り、各施設の視察と活動報告を通じて地域包括ケアの向上を図ることを目的に開催されています。本年度は、昨年10月に開院した新病院の視察を兼ねて、去る8月29日（土）に、当院と沢内バーデンを会場に行われました。研究会のテーマは「明日に向かって輝けさわうち病院」としました。新生さわうち病院が発展することを祈り、同じく第一戦で地域医療を担う国保連の施設が輝きを増すことを祈念したタイトルです。当日は、A. 「町立西和賀さわうち病院施設概要」として高橋光世事務長から報告があった後、B. パネルディスカッションとして、（1）内記歯科医長から「包括ケアと医科歯科連携；地域医療に於ける歯科医の役割」、（2）村田純子副院長兼総括看護師長から「看護科の改革、包括ケアへの対応、副院長に就任して考えること」、山下晋平 内

科医長から「自治医科大学卒業生の立場から；卒業後の振り返りと、さわうち病院に赴任して思うこと」、北村院長から「院長を引き受けた理由と病院運営の目標、1年間の振り返り」の発表がありました。それぞれの立場からの発表はさわうち病院の現状や課題を明快に示しており、会場との意見交換も活発でした。病院視察とその後の情報交換会も盛り上りました。奨学金養成医師を目指す学生も2名参加してくれました。二人は、深澤晟雄資料科も見学してくれ、前週に没後50年の記念行事を行った深澤村長の生命尊重行政も勉強してもらいました。参加者は、院外21名、院内29名、国保連事務局7名と盛会でした。国保連の病院はいずれも厳しい状況で病院運営に当たっております。志を同じくする仲間とともに、地域医療を守っていく決意を新たにしました。

## 脳卒中連携パス・大腿骨頸部骨折連携パスへの参加紹介

町立西和賀さわうち病院

副院長兼総括看護師長 村田純子



クリティカルパスは、1950年代に米国の工業会で導入され始め、1990年代に日本の医療機関においても、患者さんへの説明や、良質な医療を効率的、且つ安全、適正に提供する為の手段として開発され、診療計画表として導入されました。

診療の標準化、根拠に基づく医療の実施、インフォームドコンセントの充実、業務の改善、チーム医療の向上などの効果が期待されています。

当院は平成26年度から岩手県立中部病院と秋田道沿線病院の脳卒中連携パスと、大腿骨頸部骨折連携パスに参加をさせていただいています。

今後も、地域連携を円滑に行い、西和賀町の医療・福祉・介護の質の向上に努めていいきたいと思います。

## 診察は予約をお願いします

町立西和賀さわうち病院  
診療案内

診 療 科	診 療 日	受 付 時 間
内 科	月～金	午前8：00～午前11：30
	木・金	午後1：00～午後4：00
外 科	月～金	午前8：00～午前11：30
	毎週月曜日	午後1：00～午後3：00
眼 科	第2・第4金曜日	午前8：00～午前11：30
	毎月1回・日曜日	午後1：00～午後3：30
皮膚科	第2・第4金曜日	午前8：00～午前11：30
		午後1：00～午後4：00
耳 鼻 咽 喉 科	第2・第4土曜日	午前8：00～午前11：30
泌 尿 器 科	第1・第3水曜日	午後1：00～午後4：00
整 形 外 科	第1・第3火曜日	午前8：00～午前11：30
もの忘れ・認知症外来	毎週火曜日	午後1：00～午後4：00
循 環 器 内 科	第3木曜日	午後1：00～午後4：00
夜 間 診 療	第2火曜日	午後5：00～午後6：30
歯 科	月曜日	午前8：00～午後5：30
	火曜日	午前8：00～午後6：30
	水曜日	午前8：00～午後4：30
	木曜日	午前8：00～午後5：30
	金曜日（第1・3・5）	午前8：00～午後4：30
	金曜日（第2・4）	午前8：00～午前11：30

西和賀さわうち病院では、診察待ち時間の短縮と出張等による医師不在に対応するため、一部の診療科を除き診察のお願いをしております。予約なしで受付を行った場合は、予約患者さんが優先となり、その後での診察となりますのでご了承ください。また、予約を変更したい場合も必ず連絡をお願いします。なお、緊急を要する場合（急患）はこのかぎりではありません。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

診察の予約・変更は、月～金の午後時間内に、TEL (85) 3131(代表電話)までお願いします。また診療日が変更となる場合もありますので、随時ひかり放送などでご確認くださるよう併せてお願いします。

※11月から耳鼻咽喉科の診療は第1・第3土曜日に変わります。

## 夜間延長診療を行っています

町立西和賀さわうち病院  
夜間延長診療 実績

平成27年	患者数 (人)
4月	9
5月	2
6月	3
7月	2
8月	3

当院では、月1回、検査の必要がない、状態の落ち着いている慢性疾患の患者さんを対象に、夜間延長診療をおこなっております。

お仕事等で日中病院に来るのが難しいといった悩みをお持ちの方がおりましたら、ぜひ外来にてご相談下さい。

なお、受診の際は予約が必要となりますのでよろしくお願いします。

### ○ 夜間延長診療

第2火曜日 17：00～19：00  
受付時間 17：00～18：30



## 医療機関からの患者紹介について

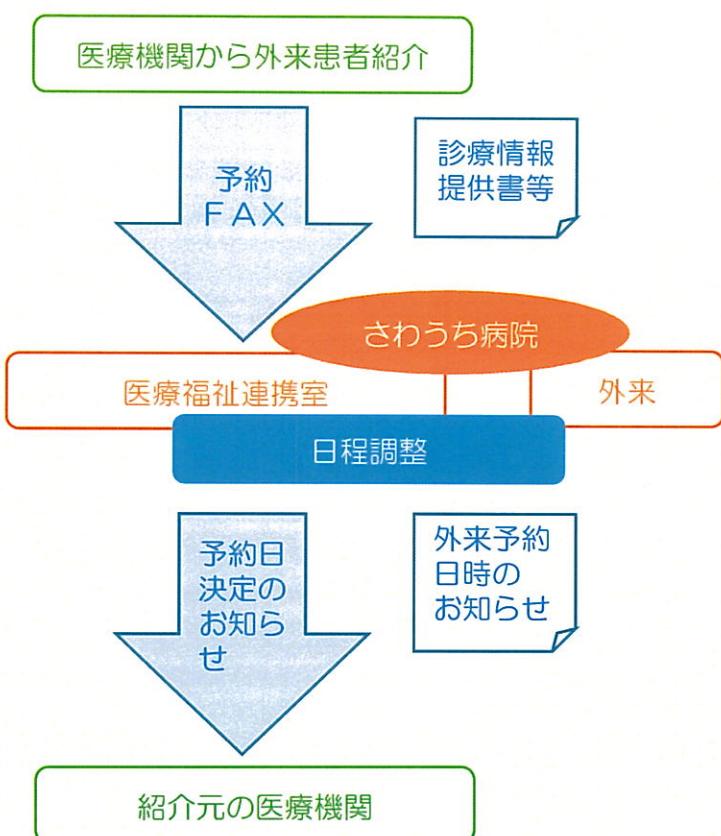
当院では、地域の関係医療機関との連携を強化し、患者さんにとって、より良い医療が提供できるよう、平成26年4月より「医療福祉連携室」を設置しております。

当院では外来診療は予約制となっております。医療機関から紹介の患者さんの外来予約は、連携室で早急に対応いたしますのでご連絡ください。

また、入院・転院に関しても連携室で対応いたします。

### 【お問い合わせ先】

町立西和賀さわうち病院  
医療福祉連携室 担当 高橋、村田  
平日 8:30~17:15  
0197-85-3131（代表）



## 編集後記

10月に入り、秋の気候になりました。気候の変化で、体調を崩している方も多いかもしれません。9月18日に、当院で、町内の医療福祉関係者を対象に、土井英史先生の感染対策講座を行いました。当日は盛況で、会場に入れない参加者もいらっしゃいました。仕事でも家庭でもすぐに役立つ有意義な内容でした。感染対策講座でご教示いただいたことを、さっそく院内で取り組んでいます。

さて、昨年の10月14日に新病院が開院して、およそ1年が経ちます。高齢化率が県内トップの西和賀の町民の健康をまもるため、地域のニーズに応えられる様に、これからも、さわうち病院は積極的に取り組んで参ります。

連携室 高橋



さわうち病院ホスピタルモールの  
“カフェ風”前の様子。  
晴れた日は、大きな窓から太陽の光が  
サンサンと照らします。